

令和2年度3年度 日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業

海外に赴く日本語教師【初任】研修

教育課程・シラバス・教材等の成果物

株式会社インターカルト日本語学校

令和2年度日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業

海外に赴く日本語教師【初任】研修 教育課程

回	科目名	研修方法	教育内容	単位 時間数
1	国際関係・海外の日本語事情	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策	4
2	海外に必要な能力	講義	(5) 日本語とキャリア開発	2
3	日本語教育事情マレーシアの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
4	日本語教育事情タイの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
5	日本語教育事情ベトナムの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
6	日本語教育事情イタリアの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	1
7	日本語教育事情アメリカの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	1
8	日本語教育事情	ワークショップ	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	1
9	多文化社会	講義	(6) 赴任国・地域等における多文化社会	1
10	言語の構造	講義	(11) 赴任国・地域等の言語との対照	2
11	言語習得	講義	(7) 言語習得と人の発達	2
12	異文化コミュニケーション1	講義・ワーク ショップ	(9) 異文化マネジメント	2
13	外国語コミュニケーション	ワークショップ	(12) 赴任国・地域の言語での基礎的なコミュニケーション能力	1
14	シラバスカリキュラム作成	講義・ワーク ショップ	(8) 演習・シラバス・カリキュラム作成・改善	3
15	異文化コミュニケーション2	講義	(9) 異文化マネジメント	4
16	評価法	講義	(8) 演習・評価法	2
17	教具・教材のリソース	講義	(10) 教材・教具のリソース	2

18	対象別指導法 1	講義	(8) 演習・対象別指導法	2
19	対象別指導法 2	講義・ワークショップ	(8) 演習・対象別指導法・授業観察・模擬授業	2
20	教材分析・教材作成	講義・ワークショップ	(10) 教材・教具のリソース・教材分析・教材作成	2
21	模擬授業	実践研修	(8) 演習・授業観察・模擬授業・振り返り・自己点検	4
22	イベント企画	実践研修	(8) 演習 (13) 海外での実務及び関係者との連携のための能力	3
23	マネジメント	講義・ワークショップ	(13) 海外での実務及び関係者との連携のための能力	3
24	振り返りレポート			1
				51

令和3年度日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業 海外に赴く日本語教師【初任】研修 教育課程

回	科目名	研修方法	教育内容	単位 時間数
1	国際関係・海外の日本語事情	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策	4
2	海外で必要な能力	講義	(5) 日本語とキャリア開発	2
3	日本語教育事情マレーシアの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
4	日本語教育事情タイの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
5	日本語教育事情イタリアの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
6	日本語教育事情アメリカの事例	講義	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
7	多文化社会	講義	(6) 赴任国・地域等における多文化社会	2
8	継承日本語子供の事例	講義	(6) 赴任国・地域等における多文化社会 (7) 言語習得と人の発達	2
9	言語の構造	講義	(11) 赴任国・地域等の言語との対照	2
10	言語習得	講義	(7) 言語習得と人の発達	2
11	日本語教育事情	ワークショップ	(1) 国際関係・国際情勢 (2) 海外における日本語学習者の状況 (3) 赴任国・地域等の日本語教育事情 (4) 赴任国・地域等の言語施策 (6) 赴任国・地域等における多文化社会	1
12	外国語コミュニケーション	ワークショップ	(8) 演習 (12) 赴任国・地域の言語での基礎的なコミュニケーション能力	1
13	異文化コミュニケーション1	講義・ワークショップ	(9) 異文化マネジメント	3
14	異文化コミュニケーション2	講義	(9) 異文化マネジメント	2
15	評価法	講義	(8) 演習・評価法	2
16	シラバスカリキュラム作成	講義・ワークショップ	(8) 演習・シラバス・カリキュラム作成・改善	3
17	対象別指導法1	講義	(8) 演習・対象別指導法	2
18	ICT教材の活用例	講義	(10) 教材・教具のリソース	1
19	教材の探し方	講義	(10) 教材・教具のリソース	1
20	ICT教材作成	講義・ワークショップ	(10) 教材・教具のリソース	2
21	対象別指導法2	講義・ワークショップ	(8) 演習・対象別指導法・授業観察・模擬授業	2

22	イベント企画	実践研修	(8) 演習 (13) 海外での実務及び関係者との連携のための能力	1
23	模擬授業	実践研修	(8) 演習・授業観察・模擬授業・振り返り・自己点検	6
24	マネジメント	講義・ワークショップ	(13) 海外での実務及び関係者との連携のための能力	2
25	振り返りレポート	レポート		1
				52

令和2年度「海外に赴く日本語教師【初任】研修 シラバス

株式会社インターカルト日本語学校

	科目名	到達目標	授業概要	研修方法	講師名	所属
1	国際関係・海外の日本語事情	日本から海外に赴任する日本語教師のために、知っておくべき教育関連のテーマを、教育理念、教育機関、言語政策、教育文化の4側面から考察・検討し、紹介する。	・国際関係・国際情勢 ・海外における日本語学習 ・赴任国・地域の日本語教育事情 ・赴任国・地域の言語政策	オンライン	西原鈴子	特定非営利活動法人 日本語教育研究所理事長
2	海外で必要な能力	・海外に赴く日本語教師に求められる能力や役割について理解する ・海外の現役日本語教師の事例から、国や文化、それぞれの機関の役割による違いや特徴を理解する ・海外においては自らが外国人となる教師自身が、異文化について学ぶ必要性を理解し、今後の継続的な学びに繋げる	・当研修の概要 ・海外で日本語を教える人に求められる能力 ・海外で活躍する日本語教師たちへのインタビュー ・海外に赴く日本語教師に必要なこと ～異文化理解を中心に～	オンライン	加藤早苗	インターカルト日本語教員 養成研究所所長
3	日本語教育事情 マレーシアの事例	マレーシアでの日本語学習状況や民族性を知り、ATOZランゲージセンターでの活動や在職する日本語教師の声などを通してマレーシアにおける日本語教育事情を学ぶ	・マレーシアとは ・マレーシアの教育制度 ・多民族国家としてのマレーシア ・マレーシア国内での日本語教育の現状 ・当校の生徒が日本語教師に求めるもの ・当校の教師から海外で働く先生へのアドバイス	オンライン	西尾亜希子	AtoZ language centre (マレーシア) 校長
4	日本語教育事情 タイの事例	タイにおける日本語教育事情を日タイ関係の歴史的背景や日本語学習の現状、学習者のニーズなど様々な観点から学ぶ。	・学校紹介 ・過去と現在のタイと日本のつながり ・タイの日系企業数等 ・タイ人が受け入れてきた日本のモノ ・当校の学生について ・タイの日本語教育機関種別 ・学生の学習動機、目的 ・日本留学生推移 ・教室の様子	オンライン	長谷川卓生	Jeducation center (タイ) 代表
5	日本語教育事情 ベトナムの事例	ベトナムの社会環境や日本語教育状況を知り、民間日本語教育機関の事例としてサイゴンランゲージセンターの活動を通してベトナムにおける日本語教育事情を学ぶ。	・ベトナムについての情報 ・ベトナムでの日本語教育事情 ・民間日本語センター SLGの事例	オンライン	Phuong Thao	Saigon Language School (ベトナム) 校長
6	日本語教育事情 イタリアの事例	イタリアにおける日本語学習の現状や、学習者のニーズについて知る。	・イタリアと日本の関係 ・イタリアの教育事情 ・イタリアの日本語学習事情	オンライン	西岡芳栄	Associazione Amicizia Italia-Giappone Ochacaffe' (イタリア) 代表
7	日本語教育事例 アメリカの事例	アメリカ合衆国における日本語教育の状況を歴史や教育制度などの大枠を知り、公立高校と日本語補習校で実際に働く日本語教師の声を通して、現状のアメリカ合衆国における日本語教育事情を学ぶ。	・アメリカ合衆国と日本との関係 ・日本語学習者の状況、日本語教育の歴史 ・日本語教育事情：国の特徴、日本語教育機関の種類、学習者数、対象者および学習目的（中学生、高校生、大学生、社会人、海外在住日本人）など ・アメリカの教育制度内の日本語教育の位置づけ ・教員資格、日本語教師会 ・公立高校と日本語補習校の教育内容、授業の様子、イベント、オンライン教育への取り組みなど ・高校生、海外在住日本人が日本語を学んだ後の様子	オンライン	井上とも子	アメリカメリーランド大学 グローバルキャンパス 非常勤准教授
8	日本語教育事情	海外に赴任する前に自身で調べておくべき赴任先の日本語教育事情や必要な項目について考え、調査してみることで、実際の赴任時に役立つ調査能力や視点を身につける	日本語教育事情（自主調査）	オンライン	坂本彩	インターカルト日本語学校非常勤講師
9	多文化社会	ポリビア多民族共和国の日系社会の事例から、日本はどうであるか、受講者が自分ごとにおきかえ、真の多文化共生とはどういうことかを考える。	ポリビアの日系社会と継承語教育、アイデンティティーについて。	オンライン	清水広美	フリーランス（元青年海外協力隊隊員）
10	言語の構造	東アジアにおける現在の漢字・漢字語彙の使用状況を示し、それと対比する形で日本語の漢字の字形・発音・語彙・文法の特徴を理解してもらう。	旧漢字圏における言語の構造と表記 ・表記について ・音韻について ・共有されない漢字語彙について ・同形同義語について ・語順、品詞、格助詞について	オンライン	石原嘉人	沖縄大学・沖縄国際大 学 講師
11	言語習得	母語習得および第二言語習得について理解を深め、日本国内と海外での日本語教育における違いを理解し、第二言語習得からの知見を現場に応用できる力をつけることを目的とする。	・母語と第二言語の習得 ・発達段階に応じた言語学習 ・日本国内と海外における言語習得プロセスの違い	オンライン	大関浩美	麗澤大学国際学部 教授

12	異文化コミュニケーション1	海外で教えることを意識した上での異文化コミュニケーションのあり方、教室で日本語教師が直面する異文化について考え、理解を深める	・香港の日本語教育事情 ・日本語教師が異文化コミュニケーションを学ぶことの意味 ・日本で教えることと海外で教えること ・教室の中の異文化 ・実践紹介	オンライン	室田真由見	千葉大学・東京医科歯科大学・獨協大学・東京海洋大学 非常勤講師
13	外国語コミュニケーション	直説法による外国語学習体験を通じて、直説法で日本語を学ぶ日本語学習者の視点を知り、実践の場に活かす。	オンライン形式の基礎ベトナム語体験授業	オンライン	Trinh Thi Phuong Thao	Saigon Language School (ベトナム) 校長
14	シラバスカリキュラム作成	シラバス・カリキュラム作成について基本的な知識を整理し、新しい考え方について理解すること。さらに、実践するうえで直面する課題について自律的に考えることができるようになること	・シラバス・カリキュラムを作成するうえで必要な知識の確認 ①日本語教師としての仕事 ②コースデザインの流れ ③ニーズ・レディネス調査 ④目標言語調査・目標言語使用調査 ⑤コース目標と評価基準⑥シラバス・カリキュラムとは ⑦各国のガイドライン ⑧教える内容 ⑨教え方・教材 ⑩評価 ・シラバス・カリキュラムの作成について具体的な例をもとに検討する ①教師のレディネスを知る ②目標言語を内省する ③到達目標とシラバス・カリキュラムの関係 ④シラバス・カリキュラムと教え方の関係 ⑤シラバス・カリキュラムと教科書との関係 ⑥シラバス・カリキュラムの変更がもたらすもの ⑦課題をシラバス・カリキュラムの観点から見直す ⑧まとめ	オンライン	久保田美子	早稲田大学 教授
15	異文化コミュニケーション2	日本と異なる文化圏の一例としてインドネシアの概要、日本との関係、文化、習慣、国民性などを学び、その比較から日本の特徴やインドネシア人の視点から日本がどのように見えるかを考える	・異文化コミュニケーションとは ・インドネシア概要・日本との関係・日本語教育・インドネシア語 ・インドネシアと比較してわかる日本の特徴 ・インドネシア人から見て日本はどのように映っているか ・インドネシア人の性質 ・日本人から見たインドネシア人 ・インドネシア人から見た日本人 ・外国生活で気をつけたいこと、はじめにしておきたいこと ・日本語教師として赴任国の言語・習慣を理解しておくことの利点	オンライン	渡辺彰吾	Jakarta Communication Club (インドネシア) 校長
16	評価法	日本語教師の重要な役割である評価を、体系的に基礎基本を押さえた後、実際に海外の教育機関で評価を行う際の留意点について考える。	・海外に赴く日本語教師に必要な、言語テストの基本的な機能と役割、特徴を学ぶ。 ・言語テストが測定可能な日本語能力について理解する。 ・妥当性と信頼性の高いテスト作成に必要なヒントを獲得する。 ・海外の教育機関で評価を行う際の留意点について理解する。	オンライン	伊東祐郎	国際教養大学 専門職大学院 日本語教育領域 代表
17	教具・教材のリソース	ICT教材の活用事例として、ロイロノートの使い方や実際の授業での活用方法、授業の様子を知り、ICT教材の効果的な活用について考える。	・can-doについて ・ロイロノートの使い方 ・ロイロノートを使った実際の授業風景	オンライン	長谷川卓生	Jeducation Center (タイ) 代表
18	対象別指導法1	中国人学習者に対する模擬授業を見学し、日本語の発音・アクセント指導の要点を考えることで、赴任国での実践に活かせる指導法を学ぶ。	日本語発音アクセント指導の模擬授業	オンライン	笈川幸司	中国湖南師範大学特任教授
19	対象別指導法2	学習の目的や要望など学習対象の幅が広い企業レッスンを取り上げ、様々な事例から企業レッスンにおける注意点や指導法の実例を紹介し、対象別の指導法について考える	・企業レッスンを受けることになった経緯と実績 ・企業レッスンでの注意点 ・レッスン報告と評価について ・事例1～3 (企業からの要望、対象の学習者、立てたカリキュラム、実際にやってみた結果) ・企業様からの声	オンライン	西尾亜希子	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長
20	教材分析・教材作成	海外では、十分な日本語教材・機材が揃えられない地域もあることから、様々なリソースを活用して教材を作成する能力を養う。	・絵教材 絵教材の特徴、教材用イラストの描き方、教材作成・活用例の紹介 ・写真教材 写真教材の特徴、写真を使った授業例 ・ニュース素材を利用した教材作成 Webニュースの文章・音声・映像・画像を教材化した例の紹介 ・多読教材の紹介 ・まとめ	オンライン	深田みのり	インターカルト日本語学校非常勤講師
21	模擬授業(準備)	テーマ、対象に合わせて授業を組み立てる。模擬授業実習に向けて、各グループで発表のための教案を検討し、実習の準備をする。	各自作成してきた教案をグループ内で発表。グループで模擬授業の準備をする。	オンライン	西尾亜希子 Phuong Thao	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Saigon Language School (ベトナム) 校長
22	模擬授業	現地の学習者に対して授業を考え、実践し、フィードバックを受けることで、海外に赴任した際の授業のポイントや注意点等を考える。	グループで1人模擬授業をし、講師のコメントをもらう。他のグループの模擬授業を見学する。	オンライン	西尾亜希子 Phuong Thao	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Saigon Language School (ベトナム) 校長
23	イベント企画	さまざまな目的を持ったイベントの企画・運営に対応できるよう、今回の授業では、いくつかのイベント趣旨に沿った企画の考案、チームでの検討・発表を通して、実際の赴任時に活かせる能力や求められるものに応えるためのヒントを得る。	ベトナム、マレーシア、タイの日本語学校が提示する条件に沿って、イベントの企画を考案、共有	オンライン	西尾亜希子 長谷川卓生 Phuong Thao	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Jeducation Center (タイ) 代表 Saigon Language School (ベトナム) 校長
24	マネジメント	・海外での実務及び関係者との連携の必要性について理解する ・日本語教師の海外でのマネジメントについて広い範囲から考える ・講座全体を振り返り、各自の目標を明確にする	・実際のマネジメントの実例を聞き、自分に引き寄せて考える ・マネジメントをする際の考えを共有する ・講座全体の振り返り	オンライン	加藤早苗	インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所 所長

令和3年度「海外に赴く日本語教師【初任】研修 シラバス

株式会社インターカルト日本語学校

	科目名	到達目標	授業概要	研修方法	講師名	所属
1	国際関係・海外の日本語事情	日本から海外に赴任する日本語教師のために、予め知っておくべき国際的理念、各国・地域の日本語教育事情とそれに基づく学習の在り方、日本語を母語とする教師の担うべき役割を知る	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育に関連する国際的理念 海外における言語教育の現状 日本語母語話者教師の役割 赴任国・地域の言語政策 	オンライン	西原鈴子	特定非営利活動法人 日本語教育研究所理事長
2	海外に必要な能力	<ul style="list-style-type: none"> 海外に赴く日本語教師に求められる能力や役割について理解する 海外の現役日本語教師の事例から、国や文化、それぞれの機関の役割による違いや特徴を理解する 海外においては自らが外国人となる教師自身が、異文化について学ぶ必要性を理解し、今後の継続的な学びに繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> 当研修の概要 海外で日本語を教える人に求められる能力 海外で活躍する日本語教師たちへのインタビュー 海外に赴く日本語教師に必要なこと ～異文化理解を中心に～ 	オンライン	加藤早苗	インターカルト日本語教員 養成研究所所長
3	日本語教育事情 マレーシアの事例	マレーシアという国、マレーシア国内の日本語教育、民間日本語学校で日本語を教えるということに知識を深める	<ul style="list-style-type: none"> マレーシアとは マレーシアの教育制度 多民族国家としてのマレーシア マレーシア国内での日本語教育の現状 当校の生徒が日本語教師に求めるもの 当校の教師から海外で働く先生へのアドバイス 	オンライン	西尾亜希子	AtoZ language centre (マレーシア) 校長
4	日本語教育事情 タイの事例	日系企業が多数点在するタイにおける日本語教育の重要性を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育の社会の中での役割 タイの社会・産業における日本語教育の重要性 日本語に対する個人のニーズ・重要性 当校の学生にみるタイ人日本語学習者の動向 日本語教師のタイにおける勤務先の形態 	オンライン	長谷川卓生	Jeducation center (タイ) 代表
5	日本語教育事情 イタリアの事例	海外に赴く日本語教師の方に向けて、イタリアの日本語教育事情や、日本語学習者の学習目的について知る	<ul style="list-style-type: none"> 日本とイタリアの関係 イタリアの日本語教育事情 イタリアにおける外国語学習について イタリアの日本語学習者はなぜ日本語を勉強するのか 	オンライン	西岡芳栄	Associazione Amicizia Italia-Giappone Ochacaffe' (イタリア) 代表
6	日本語教育事例 アメリカの事例	現在のアメリカ合衆国における日本語教育事情について知るとともに、求められる教師の役割、態度、スキルについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国について アメリカの日本語教育 テキサス州ヒューストン地区の日本語教育 日本語教師インタビュー アメリカの日本語教室を取り巻く話題 	オンライン	井上とも子	アメリカメリーランド大学 グローバルキャンパス 非常勤准教授
7	多文化社会	海外の多文化社会の事例や講師の活動経験等を通し、日本語教師として大切なことや、真の多文化共生のために必要なことは何か、共に考える	ポリビア多民族共和国の日系社会と継承日本語教育、講師の海外活動経験による気づきを共有し、日本語教師として、多文化社会における異文化理解や共生を、どのように実現していくか考えていくための道標とする。	オンライン	清水広美	フリーランス (元青年海外協力隊隊員)
8	「継承日本語」 ～子供の事例～	「継承日本語」について知る・理解する	<ul style="list-style-type: none"> 継承語とは？ ことば育て～子供への3つの贈り物～ 楽しさ溢れる継承日本語幼児クラス実践例 継承日本語教育への親の想いと問題提起 子供の幸せと豊かさを求めて 問題提起からのグループディスカッション・発表・まとめ 	オンライン	深本明見	日本語教室「ひなたぼっこ」(ドイツ) 主宰
9	言語の構造	日本語の漢字の字形、字音語の発音、語義について、また漢字語彙に「スル」が後続した動詞等の文法について、漢字文化圏の出身者が日本語を学ぶ際に役立つ情報を体系的に理解する	中国語圏、韓国語圏、ベトナム語圏では、それぞれの言語における漢字語彙の知識が役に立つ場合もあるし、逆にマイナスの転移を引き起こす可能性もあることを、数多くの事例とともに指摘した。同時に、「旧漢字圏」という枠組みを理解することで、同形同義の語彙が数多く存在する理由についても提示した。	オンライン	石原嘉人	沖縄大学・沖縄国際大 学 講師

10	言語習得	第二言語習得過程での習得メカニズムおよび習得に何が必要かについて理解を深め、日本国内と海外での日本語教育における習得環境の違いを考えながら、第二言語習得研究からの知見を現場に応用できる力をつける	第二言語習得過程における中間言語の発達プロセス、習得が起こるために必要なもの、文法学習の役割、訂正フィードバックの必要性等を中心に講義を行い、海外と日本の習得環境の違いについて考える。	オンライン	大関浩美	麗澤大学国際学部 教授
11	日本語教育事情	海外に赴任する前に自身で調べておくべき赴任先の日本語教育事情や必要な項目について考え、調査してみることで、実際の赴任時に役立つ調査能力や視点を身につける	各自選んだ国・地域の日本語教育事情を調べ、共有する	オンライン	坂本彩	インターカルト日本語学校非常勤講師
12	外国語コミュニケーション	ベトナム語学習の体験を通じて、受講者（日本語教師）が生徒の立場や気持ちを理解し、より効率の良い教案づくりやクラス管理をできるようにする	オンライン形式の基礎ベトナム語体験授業	オンライン	Trinh Thi Phuong Thao	Saigon Language School（ベトナム） 校長
13	異文化コミュニケーション 1	海外で教えることを意識した上での異文化コミュニケーションのあり方、教室で日本語教師が直面する異文化について考え、理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・香港の日本語教育 ・「異文化コミュニケーション」と「海外で教えるということ」 ・異文化適応とカルチャーショック、ステレオタイプ ・日本文化を教える ・実践紹介 	オンライン	室田真由見	千葉大学・東京医科歯科大学・獨協大学・東京海洋大学 非常勤講師
14	異文化コミュニケーション 2	日本と異なる文化圏の一例としてインドネシアの概要、日本との関係、文化、習慣、国民性などを学び、その比較から日本の特徴やインドネシア人の視点から日本がどのように見えるかを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化コミュニケーションとは ・インドネシア概要・日本との関係・日本語教育・インドネシア語 ・インドネシアと比較してわかる日本の特徴 ・インドネシア人から見て日本はどのように映っているか 	オンライン	渡辺彰吾	Jakarta Communication Club（インドネシア） 校長
15	評価法	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に赴く日本語教師に必要な、言語テストの基本的な機能と役割、特徴を考える ・言語テストが測定可能な日本語能力について確認する ・妥当性と信頼性の高いテスト作成に必要なヒントを共有する ・海外の教育機関で評価を行う際の留意点について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・テストと評価 ・評価法の実際 ・課題 ・評価の多様性 ・海外での評価とその方法 	オンライン	伊東祐郎	国際教養大学 専門職大学院 日本語教育領域 代表
16	シラバスカリキュラム作成	シラバス・カリキュラム作成について基本的な知識を整理し、新しい考え方に理解すること。さらに、実践するうえで直面する課題について自律的に考えることができるようになること	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス・カリキュラムを作成するうえで必要な知識の確認 ①日本語教師としての仕事 ②コースデザインの流れ ③ニーズ・レディネス調査 ④目標言語調査・目標言語使用調査 ⑤コース目標と評価基準⑥シラバス・カリキュラムとは ⑦各国のガイドライン ⑧教える内容 ⑨教え方・教材 ⑩評価 ・シラバス・カリキュラムの作成について具体的な例をもとに検討する ①教師のレディネスを知る ②目標言語を内省する ③到達目標とシラバス・カリキュラムの関係 ④シラバス・カリキュラムと教え方の関係 ⑤シラバス・カリキュラムと教科書との関係 ⑥シラバス・カリキュラムの変更がもたらすもの ⑦課題をシラバス・カリキュラムの観点から見直す ⑦まとめ 	オンライン	久保田美子	早稲田大学 教授

17	対象別指導法 1	カリキュラム通り、あるいは教案通り授業をするのではなく、学生に興味を抱かせ、学生が自分から授業に参加しようという気持ちにさせて、最終的に発音、アクセントが改善され、自分の頭で発表内容を考え、堂々と発表し、授業が終わったときに以前の自分よりも上達したと実感ができ、自信をつけること。	発音・アクセント練習。②発話練習。③例文を思考時間0で回答する練習。練習を通して、発音・アクセントの練習が大事だと本人に自覚してもらうことで、放課後自主練習を促せる。②できないと決め込まないで、良い方法を知った後は、話すことができるということを体験を通してわかってもらう。③単語や文法を暗記するなど、勉強の嫌いな学生に勉強の面白さをわかってもらう。	オンライン	笈川幸司	中国湖南師範大学特任教授
18	ICT教材の活用例	・ロイロノートの使い方、活用方法を知ること ・ICTでできることについて考える	オンライン・対面問わず、学生のモチベーションの維持向上を目的としたICTの活用について「ロイロノート」という教育アプリを日本語教育に活用している例	オンライン	長谷川卓生	Jeducation Center (タイ) 代表
19	教材の探し方	海外に赴く日本語教師の教材準備に関する心構えや活用できる情報を知る 赴任前の準備の支援だけではなく、赴任後に各自で教材・リソースを活用・アップデートしていくための情報を知る	教材の準備・手配の際に考慮するとよいことや活用できる情報を、渡航前・渡航後の両観点から検討し、4つのステップで紹介した。準備項目をフローチャートで示したり、ウェブサイトや教材、リソースを具体的に提示したりすることで、受講者が講座後に各自の状況に合わせて活用できるようになることを目指す。	オンライン	渡辺唯広・大橋由希	株式会社凡人社
20	ICT教材作成	近年のスマートフォン等のモバイル端末の普及やネット環境の整備状況を踏まえ、タッチ操作やオンライン授業や教材の配布が可能になったことを活かした教材の活用方法を知る。また、教材制作アプリを使用してカスタム教材を制作する際のポイントについて知る	・教育と ICT の現状 ① 技術の進歩と ICT について ② 教育における ICT 技術の活用例 ・電子教材について ① 電子（デジタル）教材とは何か？ ② インタラクションとユーザーインターフェイス（UI） ③ 電子教材のもつその他のメリット ・電子教材の設計 ① 電子教材の制作に向けて ② ケーススタディ	オンライン	都築鉄平	セミオンス株式会社 代表
21	対象別指導法2	「日本語教師」として国と国、会社と人をつなぐ橋としての役割を担っていることを伝え、教師が幅広くフレキシブルな視点を持つことを助ける。	・企業レッスンとは ・企業レッスンの難しさ ・企業が求めるもの ・さまざまな形での評価法 ・事例①～③ ・企業からの声	オンライン	西尾亜希子	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長
22	イベント企画	さまざまな目的を持ったイベントの企画・運営に対応できるよう、今回の授業では、いくつかのイベント趣旨に沿った企画の考案、チームでの検討・発表を通して、実際の赴任時に活かせる能力や求められるものに応えるためのヒントを得る。	具体的な条件のもと、イベントの企画考案。グループで発表。全体で共有。	オンライン	西尾亜希子 長谷川卓生	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Jeducation Center (タイ) 代表
23	模擬授業（準備）	テーマ、対象に合わせて授業を組み立てる。模擬授業実習に向けて各グループで教案を検討し実習の準備をする。	各自作成してきた教案をグループ内で発表。グループで模擬授業の準備をする。	オンライン	西尾亜希子 渡辺彰吾	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Jakarta Communication Club (インドネシア) 校長
24	模擬授業	・実際に現地の学生に向けた授業を考え実践することで気づきを得る ・他の受講者と話し合うことで、色々なやり方があることを知る ・現地の学習者に対して授業を行うことで、海外に赴任した際の授業のポイントや注意点を考える	・グループで1人模擬授業をし、講師のコメントをもらう。 ・他のグループの模擬授業を見学する。 ・他のグループの模擬授業について、コメント用紙に記入し、教案、コメントとも共有。	オンライン	西尾亜希子 渡辺彰吾	AtoZ Language Centre (マレーシア) 校長 Jakarta Communication Club (インドネシア) 校長
25	マネジメント	・海外での実務及び関係者との連携の必要性について理解する ・日本語教師の海外でのマネジメントについて広い範囲から考える ・講座全体を振り返り、各自の目標を明確にする	・文化審議会国語分科会「報告書」の内容の理解 ・マネジメントの実際を聞き、考える ・講座全体の振り返り	オンライン	加藤早苗	インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所 所長

海外に赴く日本語教師【初任】研修 スケジュール

2021. 1. 19

回	月日	①9:30~10:15	②10:25~11:10	③11:20~12:05	④12:15~13:00
1	11/7	海外に必要な能力 (加藤)	海外に必要な能力 (加藤)		
ビデオ	11/7~11/20	国際関係・海外の日本語事情 (西原) × 4 コマ			
ビデオ	11/7~11/20	日本語教育事情 × 3 コマ マレーシアの事例 (西尾) タイの事例(長谷川) ベトナムの事例 (タオ)			
	11/7~11/27	日本語教育事情 × 1 コマ イタリアの事例 (西岡)			
2	11/21	日本語教育事情 マレーシアの事例 (西尾)	日本語教育事情 タイの事例 (長谷川)	日本語教育事情 ベトナムの事例 (タオ)	※日本語教育事情 課題説明
3	11/28	日本語教育事情 (坂本)	多文化社会 (清水)	言語の構造 (石原)	言語の構造 (石原)
ビデオ	11/28~12/4	言語習得 (大関) × 2 コマ			
4	12/5	異文化コミュニケー ション1 (室田)	異文化コミュニケー ション1 (室田)	外国語コミュニケー ション (ベトナム)	
ビデオ	12/5~12/18	シラバス・カリキュラム作成 (久保田) × 2 コマ 異文化コミュニケーション2 (渡辺) × 2 コマ			
5	12/19	シラバス・カリキュ ラム作成 (久保田)	異文化コミュニケー ション2 (渡辺)	異文化コミュニケー ション2 (渡辺)	
ビデオ	12/19~1/8	評価法 (伊東) × 2 コマ			
ビデオ	1/9~1/22	教具・教材のリソース (鶴山) × 2 コマ			
6	1/9	対象別指導法 1 (西尾)	対象別指導法 1 (西尾)	対象別指導法 2 (笈川)	対象別指導法 2 (笈川)
ビデオ	1/18~1/24	日本語教育事情 × 1 コマ アメリカの事例 (井上)			
7	1/23	教材分析・教材作成 (深田)	教材分析・教材作成 (深田)	※模擬授業、イベン ト企画課題説明	
8	2/6	模擬授業 (準備) (西尾・椿・坂本)	模擬授業 (準備) (西尾・椿・坂本)		
9	2/20	模擬授業 10:25~11:10(タオ) 模擬授業 11:20~12:05 (西尾) 昼休憩 12:05~13:05 イベント企画 13:05~13:50 イベント企画 14:00~14:45 (タオ・西尾)			
ビデオ	2/20~2/26	マネジメント (加藤) × 2 コマ			
10	2/27	イベント企画 (長谷川)	マネジメント・振り返り (加藤)		
宿題	2/27~3/5	講座全体の振り返り (レポート)			

「ビデオ」は期間内に講義動画を視聴していただきます。

内容	回	ビデオ⇒視聴期間 ライブ⇒授業日	9:30-10:15	10:25-11:10	11:20-12:05	12:15-13:00	
全体的な知識を得る	ビデオ	10月2日～10月8日	国際関係・海外の日本語事情 (西原)	国際関係・海外の日本語事情 (西原)	国際関係・海外の日本語事情 (西原)		
	ライブ1	10月9日	海外に必要な能力 (加藤)	海外に必要な能力 (加藤)	国際関係・海外の日本語事情 (西原)		
各国の日本語教育事情について知る	ビデオ	10月9日～10月22日	日本語教育事情 マレーシアの事例 (西尾)	日本語教育事情 タイの事例 (長谷川)	日本語教育事情 イタリアの事例 (西岡)	日本語教育事情 イタリアの事例 (西岡)	
	ライブ2	10月23日		日本語教育事情 マレーシアの事例 (西尾)	日本語教育事情 タイの事例 (長谷川)		
	ビデオ	10月23日～11月5日	日本語教育事情 アメリカの事例 (井上)	多文化社会 (清水)	継承日本語 子供の事例 (深本)		
海外で教えるという視点から言語・教育に関わる知識を得る	ライブ3	11月6日	日本語教育事情 アメリカの事例 (井上)	多文化社会 (清水)	継承日本語 子供の事例 (深本)	※授業後、日本語教育事情の課題について説明	
	ビデオ	11月6日～11月19日	言語の構造 (石原)	言語習得 (大関)			
	ライブ4	11月20日	日本語教育事情 (坂本)	言語の構造 (石原)	言語習得 (大関)	外国語コミュニケーション (アイ)	
	ビデオ	11月20日～12月3日	異文化コミュニケーション1 (室田)	異文化コミュニケーション2 (渡辺)	評価法 (伊東)	評価法 (伊東)	
	ライブ5	12月4日	異文化コミュニケーション1 (室田)	異文化コミュニケーション1 (室田)	異文化コミュニケーション2 (渡辺)		
	ビデオ	12月4日～12月10日	シラバスカリキュラム作成 (久保田)				
	ライブ6	12月11日	シラバスカリキュラム作成 (久保田)	シラバスカリキュラム作成 (久保田)	対象別指導法1 (笈川)	対象別指導法1 (笈川)	
	ビデオ	12月11日～12月17日	ICT教材の活用例 (鶴山)	教材の探し方 (渡辺・大橋)			
ライブ7	12月18日	ICT教材作成 (都築)	ICT教材作成 (都築)	対象別指導法2 西尾	対象別指導法2 西尾	※授業後、イベント企画について説明	
教育実践をし、意見交換をすることを考える	ライブ8	1月8日		イベント企画 (長谷川・西尾)	模擬授業 (準備) (西尾・渡辺)	模擬授業 (準備) (西尾・渡辺)	※授業後、模擬授業について説明
	ライブ9	1月22日		模擬授業 (渡辺)	模擬授業 (渡辺)		
	ビデオ	1月22日～1月28日	マネジメント (加藤)				
	ライブ10	1月29日		模擬授業 (西尾)	模擬授業 (西尾)	マネジメント振り返り (加藤)	
振り返り	宿題		講座全体振り返りレポート				

PPT作成の際のお願い

- できるだけ、UDデジタル教科書体をお使いください。
これはUDデジタル教科書体NP-Rです。
- スマホで受講される方もいますので、フォントはあまり
小さくならないよう、28-48あたりをお使いください。

フォント28はこのくらいです。

フォント48はこのくらいです。

令和3年度文化庁日本語教育人材育成・研修カリキュラム等開発事業
海外に赴く日本語教師【初任】研修

講座名

講師名

概要



インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所

海外に赴く日本語教師【初任】研修



著作者(文化庁)
発行元(インターカルト日本語学校)
発行年月日(令和4年3月18日)



令和3年度文化庁日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業
『海外に赴く日本語教師【初任】研修』ノート

講座名

講座形式

担当講師

講座日 年 月 日

インターカルト日本語学校日本語教員養成研究所

著作者(文化庁)
発行元(インターカルト日本語学校)
発行年月日(令和4年3月18日)

講座アンケート（ 講座名 ）

講座：「 」

内容：

講師：

受講日：

*必須

1. お名前 *

講座前に入力してください

2. 【講座前に入力】この講座で特に学びたいと思っていることは何ですか？

講座後に入力してください

3. 【講座後に入力】この講座で新しく学んだこと、考えたことをお書きください

4. 【講座後に入力】講座の感想をお聞かせください

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

『 講座名 』 【録画・zoom】 講座アンケート

講師：

視聴期間：

*必須

1. メールアドレス *

2. この講座で学んだことをお書きください。 *

3. この講座の感想をお聞かせください。 *

4. 本日の講座内容について質問がありましたらお書きください。質問と回答は全体で共有致します。

※お答えできない場合もあります。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

令和3年度海外へ赴く日本語教師【初任】研修 修了アンケート

このたびは、海外へ赴く日本語教師【初任】研修にご参加いただきありがとうございました。皆様からのフィードバックをもとに、今後も研修内容を改善してまいりたいと考えております。つきましては、こちらの簡単なアンケートにご記入のうえ、2月7日（月）までにご返信くださいますようお願いいたします。

※こちらの修了アンケートは修了要件には関係ございません。

***必須**

1. メールアドレス *

2. 研修は有意義でしたか *

1つだけマークしてください。

- 有意義だった
- まあまあ有意義だった
- あまり有意義ではなかった
- 有意義ではなかった

3. 日程は適切でしたか *

1つだけマークしてください。

- 適切だった
- 長かった
- 短かった

4. 研修に参加する曜日、時間帯はいつが都合がよろしかったですか。（複数回答可）*

当てはまるものをすべて選択してください。

- 土曜日午前
 土曜日午後
 日曜日午前
 日曜日午後
 平日午前
 平日午後
 平日夕方～夜

5. 受講料は適切でしたか*

1つだけマークしてください。

- 適切だった
 高かった
 安かった

6. 講義の「ノート」は活用しましたか*

1つだけマークしてください。

- 活用した
 だいたい活用した
 あまり活用しなかった
 活用しなかった

7. 講義の「ノート」を活用しなかった方は理由をお書きください。

8. ご連絡の方法はいかがでしたか。*

1つだけマークしてください。

- Googleドライブだけでよい
- メールだけでよい
- Googleドライブとメールの併用がよい
- その他: _____

9. この研修で取り上げてほしかった内容がありましたらお書きください。

10. その他、何かありましたらお書きください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム